



各 位

平成 21 年 10 月 8 日

会 社 名 株式会社イーエムシステムズ
 代 表 者 名 代表取締役社長 國光 浩三
 (コード番号 4820 東証 第二部)
 問 合 せ 先 代表取締役専務 青山 明
 (TEL 06-6397-1888)

業績予想（連結・単体）の修正について

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 5 月 15 日に公表しました平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の第 2 四半期連結累計期間および第 2 四半期累計期間の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 第 2 四半期連結累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）連結業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	4,836	797	707	736
今回修正予想 (B)	4,478	811	705	730
増減額 (B - A)	358	14	1	5
増減率 (%)	7.4%	-	-	-
(ご参考)前期第 2 四半期 (平成 20 年 9 月期)実績	4,423	701	678	389

2. 第 2 四半期累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）単体業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	3,208	823	744	755
今回修正予想 (B)	2,790	871	752	758
増減額 (B - A)	417	48	9	3
増減率 (%)	13.0%	-	-	-
(ご参考)前期第 2 四半期 (平成 20 年 9 月期)実績	2,895	706	669	384

3. 修正理由

昨年秋以降続いた世界的な不況は一部地域で底を打ち、企業業績にも下げ止まりの兆しが見え始めてきました。

しかし、国内においては過去最悪の雇用環境、不安定な政局が続く中、個人消費は低調に推移しております。

当社の主要販売先であります調剤薬局に関しては、当初の義務化期限でありました平成 21 年 4 月 1 日以降もレセプトオンライン請求に対して未対応の薬局があるため、オンライン請求対応のための猶予期間が設けられております。

このような状況の中、オンライン請求未対応の薬局については前期より引き続きオンライン請求対応への準備、オンライン請求対応済の薬局については請求業務の運用に関するサポートが優先されました。

また、昨今の景況感から市場の空気は全体的に様子見傾向がうかがえ、設備投資に対して消極的な状況が続いていたため、第 2 四半期の販売件数は伸びてきたものの、予定していた件数には至らず売上高は当初予測を下回りましたが、一方の損益面につきましては、コストの抜本的な見直しによる圧縮や効率的なオペレーションの向上に努めました結果、当初予想を若干下回る見通しです。

単体業績予想の修正にともない、連結業績予想も修正いたします。

(注) 本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。

予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上